

実施計画事業名		学校建設事業		評価対象年度	平成 22 年度				
評価担当部署		教育部 学校教育課		課長(主幹)名	青山 等				
総合計画体系	分野	1	教育・文化						
	政策	2	時代に即した学校教育の推進						
	施策	3	社会の変化に対応した教育環境を整備します						
	関連施策	4-2-1 防災対策を強化します							
現状と課題	本市では、少子化と人口流出により児童・生徒の数が減少しており、平成13年度より学校の統廃合を進めてきたが、学校の小規模化が進むことにより様々な問題が生じていることからさらなる学校再編が必要となっている。そのため、平成20年8月に「稚内市立小中学校再編方針及び実施計画」を策定したところであり、適切に推進する必要がある。また、昭和56年以前に建設され、旧耐震基準の校舎は小学校14校中7校、中学校10校中5校、体育館は全19校中11校であり、学校再編と併せて計画的な改修や改築を進める必要がある。								
目的	児童・生徒がよりよい環境で教育を受けられる。また、地域住民の災害時避難場所としての機能強化が図られる。								
5ヶ年展開の施策	<p>学校の統廃合については、「稚内市立小中学校再編方針及び実施計画」に基づき、次のとおり年次的に進めながら、必要となる学校施設の大規模改修(建設)を実施する。</p> <p>①第1期(H21～23)…統廃合等について検討着手。(下勇知小・上勇知小学校の統合、東浦小中学校の統廃合(大岬小・宗谷中)、増幌小の併置校解消、増幌中の統廃合、西小中の特認校の研究と小中分離)</p> <p>②第2期(H24～)…第1期で住民合意を得たものの実施。港小の南小との統廃合の検討着手。</p> <p>③消防設備については、改修計画を立て順次実施。</p>								
成果指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	学校施設整備方針進捗率		%		目標	100	100	100	
活動指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	学校建設事業実施件数		件		目標	16	11	4	
事業費の実績	説明		学校建設事業実施件数		実績	100	100		
	説明				目標	-	-	-	
	説明				実績				
	説明				目標	-	-	-	
	説明				実績				
	説明				目標	-	-	-	
事業費の実績	単位		21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考			
	直接事業費(A)		千円	46,156	464,762	428,088			
	国庫支出金		千円	27,497	228,175	146,414			
	道支出金		千円	0	0				
	起債		千円	0	192,400	216,000			
	その他		千円	0	0				
	一般財源		千円	18,659	44,187	65,674			
	この事業にかかる職員数		人/年	0.26	0.28	0.03			
人件費(B)		千円	1,801	1,901	204				
計(A+B)		千円	47,957	466,663	428,292				
状況変化	<p>実施計画当初(平成21年～)からの状況変化</p> <p>H21年度の学校整備事業は当初予算の計上が無く、交付金事業のみ補正で計上したため小規模である。</p> <p>H22年度まで維持管理事業で予算計上していた消防設備改修工事がH23年度から学校整備事業に変更した。</p>								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コスト効率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 学校建設については、平成22年度富磯小学校校舎の改築と稚内東中学校の実施設計を完了した。 稚内市学校施設整備方針に基づき、計画が進められている。 しかし、老朽化した施設が多く、整備事業費の増大が見込まれることから、学校再編の推進とあわせ優先度の高い事業を進めていく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--